

全国水土里ネット会長賞

1. 地区名及び事業の概要等

参加団体名：津幡町

表彰地区名：市谷地区

事業名等：中山間地域総合整備事業（H9～H14）

主要工事：農業用排水施設整備、ほ場整備、農業集落道整備、農村公園整備

2. 推薦理由

本地域は平均傾斜度1/15という急傾斜地であることから、小規模営農が中心とならざるを得ず、農業離れや高齢化が進んでいた。

本事業により生産基盤を整備したことで大型機械の導入が可能となったことから、地域農業振興への機運が高まり集落営農組織が発足した。

その結果、農地の集積や営農の集約化が進むと共に、耕作放棄地が解消され後継者不足問題も解決した。平成15年度には「市谷田んぼ塾」を開塾し、都市住民とともに米や野菜作りを行いながら食と農を楽しく学ぶことで、都市住民との交流を図るなど、地域の活性化に向け積極的に取り組んでいる。

3. 受益地区における農家及び担い手の状況

(1) 受益地区における農家数の状況

区 分	事業実施前	現 在
総農家数	117 戸（ - 戸）	48 戸（ 5 戸）
うち専業農家数	10 戸（ - 戸）	11 戸（ 5 戸）
うち兼業農家数	107 戸（ - 戸）	37 戸（ - 戸）
認定農業者	0 人	5 人
生産組織等(法人含む)	0 組織	2 組織

※（ ）内の戸数は、担い手農家数

(2) 農用地の流動化状況

項 目	事業実施前	現 在	目 標
受益面積	121 ha	103 ha	
担い手等の利用集積面積	- ha	43 ha	- ha
①利用権設定面積	- ha	- ha	- ha
②受託面積	- ha	43 ha	- ha

4. 農業経営状況

区分 作物名	事業実施前 (10 a 当たり)			現 在 (10 a 当たり)		
	労働時間	反 収	生 産 費	労働時間	反 収	生 産 費
水 稲	39 hr	504 kg	134 千円	31 hr	522 kg	114 千円

区分 作物名	作 付 面 積 の 推 移		
	事業実施前	現 在	目 標
水 稲	117 ha (-ha)	102 ha (42 ha)	102 ha (42 ha)
その他 (そば)	0 ha (-ha)	1 ha (1 ha)	1 ha (1 ha)
計	117 ha (-ha)	103 ha (43 ha)	103 ha (43 ha)
土地利用率	97 %	100 %	100 %

※ (ha) は、担い手農家等の作付面積

5. 営農推進の状況

(1) 栽培技術関係

区画整理により標準区画規模が10 a から20 a に拡大されたことで、50ps級トラクターや6条刈コンバイン等、大型機械の導入が可能となり、労働時間が約2割削減できた。

(2) 転作関係の状況

①整備後の転作の状況 (現況)

- ・ 転作面積 1.3ha (事業実施前の転作面積 -ha)

②転作作物名と作付面積

- ・ 作物名：そば 1.3ha

6. 環境に配慮した取り組み

水田法面へのカバープランツ植栽や冬期水田を湛水化することにより、渡り鳥等の餌場を確保するなど、美しい棚田景観の保全を図っている。

7. その他事業実施の効果による新たな取り組み

営農組合により育苗後のハウスに野菜を導入し、地域の婦人の雇用の場を確保するとともに収益性の向上に努めている。

8. 行政や関係者が「事業計画、施工、利活用など」において苦勞した点

本地域は平均傾斜度1/15という急傾斜地であることから、小規模営農が中心となり、農家離れや高齢化が進んでいたが、本事業によるほ場の大型化を契機に営農に対する気運が高まり、また、農地集積を推進するため、農家負担の5%のうち津幡町が2.5%を負担し、営農組織の設立を促すなど、平成9年に市谷営農組合が設立され、早期に集落営農が実現された。

9. 周辺地域への波及効果及び将来の展望について

本事業の実施によって、早期に営農組織が設立されるなど営農面での活性化が図られたことにより、周辺集落において事業への関心が高まり、近傍で新規地区が採択された。

事業を契機に生産者の営農意欲が向上し、2集落で営農組織が設立された。特に、八ノ谷集落においては、特定農業団体として「八ノ谷営農組合」が設立されたことで、水田経営所得安定対策への加入が可能となるなど、より一層の安定した営農体制づくりに取り組んでいる。



事業実施前（平均区画面積 10a）



事業実施後（平均区画面積 20a）



大型機械導入

◆市谷田んぼ塾の活動



◆環境への配慮



水田法面へのカバープランツ植栽

